

チェロの音色にうっとり  
藤原真理さんリサイタル開催

2月23日、中央公民館で日本を代表するチェロ奏者藤原真理さんのリサイタルが開かれ、心を和ませますチェロの音色で会場を訪れた150人の観衆を魅了しました。藤原さんは21年前にも津別町を訪れており2度目の演奏会です。

第1部ではバッハの「無伴奏チェロ組曲 第一番よりプレリュード」とグリーグの「チェロ・ソナタ イ短調」を共演者の倉戸テルさんのピアノと一緒に演奏。第2部でもシューマン、チャイコフスキー、ドヴォルザークなど各国の有名作曲家の曲を次々と披露しました。

この日の藤原さんは、演奏曲の時代背景を解説しながらアンコール曲を含む全12曲を演奏しました。とても素晴らしいうりサイタルに講堂内は大きな拍手が鳴り響いていました。



チェロとピアノの息のあった演奏で観衆もうっとり

災害時に迅速に対応  
建設業協会と町が協定結ぶ



調印を終えて握手をする中田会長（右）と佐藤町長（左）

2月29日、津別建設業協会（中田武会長）と津別町が災害時における応急対策業務に関する協定を結びました。この協定により町は災害発生時に協会の協力を得て迅速な応急対策業務に当たれます。

町長室で行われた調印式では、中田会長と佐藤町長が協定書に署名押印し、しっかりと握手を交えました。協会は災害時に建築物の崩壊による人命救助のための障害物除去、土石と流木の除去、町が管理する道路、河川施設の機能確保、緊急を要する公共施設の応急復旧作業、建設資機材の調達と輸送などの協力を行います。

佐藤町長は「災害が発生したとき協定があれば迅速に対応してもらえるのでとても心強いです。」中田会長も「災害を最小限に止めて、安心して住める町が大事です」と話しました。

青葉幼稚園からかわいい招待状  
町長さん卒園式に来てください！



卒園式の招待状を持ってきた空クラスの園児たち

3月7日、青葉幼稚園の園児（そらクラス）10人が佐藤町長に卒園式のかわいい招待状を持ってきてくれました。

初めて入った町長室に入った園児たちは少し緊張しながら大きな声で「あいさつ。代表の安藤大賀さんと國枝颯太くんが招待状を読み上げ手渡すと町長は笑顔で受け取りました。質問コーナーでは「津別に木は何本ありますか？」「花は何種類ありますか？」「車は何台ありますか？」などたくさん質問に答えていました。最後に全員で記念写真と握手をしてお別れしました。町長は、約束通り20日の卒園式に出席し、園児たちにお祝いの言葉を贈りました。

townics

まちのわだい

体力アップに効果てきめん  
楽しく元気に転倒予防教室開催

5年目を迎えた転倒予防教室は、65歳以上でひざと腰が痛く、運動をする機会が少ない人を対象に行われています。後期は16回にわたって簡単なストレッチや筋力トレーニングを中心に行われました。

最終日の3月6日は中央公民館の講堂で行われ、12人が参加。指導員の石川朋美さんから前回測定した体力測定結果表を見ながら説明とアドバイス。参加者は大幅な体力アップに笑顔で溢れていました。その後



体力がアップしてみなさん笑顔でいっぱいでした

椅子に座ってキック体操や貯筋運動で心地よい汗を流しました。毎年参加している方は「みんなおしゃべりしながら運動ができるのでとても楽しいです」と話してくれました。

2月27日、28日の両日、食品加工センターで津別町自治会女性部連絡協議会主催によるパンづくり講習会に延べ54人（各自治会2人が参加し開催されました。この事業は自治会婦人部でのパンづくり講習のリーダー育成を目的に今年で11年目を迎えた人気の講習会で、土屋けい子さんと荒川美恵子さんの指導を受けながら、あんパン、クリームパン、甘納豆パン、調理パンなどを2日間で24kgの強力粉を使用し、900個を作りました。昼食にはパンづくりの合間に作ったうどんをおいしく食べました。



焼きたてパンで交流深まる  
自治会女性部パンづくり講習会

正しい知識と地域の支援  
認知症を考える講演会開催



200の方が認知症について理解を深めました

3月13日、中央公民館で認知症を考える講演会が開催され、講師の久保幸積さん（豊浦町「幸豊ハイツ」特養・デイ・グループホーム総合施設長）が「認知症の人と家族を地域で支えよう」をテーマに講演しました。

久保さんは認知症の症状である記憶障害、見当識障害、理解・判断力障害、実行機能障害などについて説明。「適切な診断と治療を受けることが大切。また楽しい生活と運動で発症や進行を遅らせることができる」「認知症サポーターは認知症の方や家族を温かく見守ることが大切」と話していました。

3月15日、食品加工研修センターでハーブを使ってバターとスコーンを作る公民館講座が開催され、ハーブコーディネーター渡部まさこさんの指導を受けながら7人の方が挑戦しました。この日のバター作りは、チャイブ、パジル、オレガノなど6種類のハーブの中から選び、バターに混ぜ合わせ完成させました。スコーン（パン風のお菓子）作りは「レーズンとアールグレイ」・「チーズとチャイブ」・「クルミとコーヒー」などを組合せた5種類をオーブンで焼き上げました。8日にはローズ、ラベンダー、カモミール3種類のハーブを使って石けんを作りました。



ハーブを使った公民館講座  
石けんとスコーン作りを楽しむ

子ども同志の学び合い  
地域教育講演会開催



3月7日、中央公民館で「子どもを育てる地域の底力」をテーマにした地域教育講演会が行われ、PTAや教育関係者など約150人が参加しました。講師に名古屋大学大学院教授、犬山市教育委員の中嶋哲彦さんを迎え、愛知県大山市が行っている独自の習熟度別授業や全国学力テストに参加しなかった背景について話しました。特に、「上手に子ども同志が学び合える環境を作っていくことが大切である」「学び合うことによって深く学べる」と訴えました。また質問も多く出され、熱の入った講演会となりました。